



LINEを使った運行管理ツール 「どらたん」 活用事例集

株式会社NX総合研究所
リサーチ&コンサルティング ユニット4



I. 事例と活用機能一覧

II. どらたん活用事例

- 事例 1 ドライバーの運転日報を電子化！
- 事例 2 手書きの運行日報をLINEでデジタル化！
- 事例 3 配送状況の電話確認を解消！
- 事例 4 荷待ち・積卸作業を記録し、適正な料金を収受！
- 事例 5 配送先附带作業を記録！
- 事例 6 運行中のメモの記録！
- 事例 7 顧客別の運行を管理！
- 事例 8 白ナンバーの車両への活用！



I. 事例と活用機能一覧



事例と活用どらたん機能一覧

事例と活用どらたん機能一覧

事例NO.	事例	活用機能
事例1	ドライバーの運転日報の作成・印刷が不要に！	日報作成機能
事例2	手書きの運行日報をLINEでデジタル化！	日報作成機能
事例3	ドライバーとの電話のやりとりがゼロに！	運行状況照会機能
事例4	荷待ち・積卸作業を記録し、適正な料金を収受！	集配先設定
事例5	配送先附带作業を記録！	集配先設定
事例6	運行中のメモの記録！	数値、メモ機能
事例7	顧客別の運行を管理！	部署作成機能
事例8	白ナンバーの車両への活用！	数値、メモ機能



Ⅱ．どらたん活用事例



事例1 「ドライバーの運転日報の作成・印刷が不要に！」

事業者例 概要

取扱い貨物：酒類
事業所所在地：京都
ドライバー数：12名

課題

紙の運転日報をなくしたい
運行管理のためにデジタコを導入したいが、初期投資
費用が大きい

解決

どらたんを活用したLINEによる運行管理で運転日報を電子
化
運転記録や走行距離をパソコン上での管理

導入効果

- 運転日報の作成が不要に！
- 運転日報の印刷が不要に！
- 印刷コストと書類管理の手間を解消！
- ドライバーだけでなく、倉庫員と事務員のタイムカードが不要に！
- 給与計算や請求書作成のためのデータをかんたんに取得！



事例1 「ドライバーの運転日報の作成・印刷が不要に！」

設定のポイント

<利用条件>

- ・ 法令上、日報の記録記録に必要な項目がある。
- ・ 運行距離の記録が必須
- ・ ドライバーと車両は1対1ではない。

<どらたんの設定方法>

- ・ 必要な作業項目をカスタマイズ
- ・ 「メーター値」機能を利用し、運行距離を計算
- ・ 車両を変更する場合は、「メモ」機能を活用して、始業点呼時に車番を入力

どらたんLINE画面イメージ



ドライバーの1日の活用流れ

- ①LINEより「始業点呼」ボタンを押して車番を入力
- ②会社出発前に「運転開始」ボタンを押してオドメータの数値入力
- ③休憩時間は「休憩開始」のボタンを押す
- ④会社到着後に「運転終了」ボタンを押してオドメータの数値入力

運転日報自動作成

No	作業	集配先	地点	開始時刻	終了時刻	時間	質 量	数 量
1	始業点呼 (車番入力)		京都府久世郡久美山村村家	05:57	07:38	1:41	○	3
2	運転開始 (出庫距離入力)			07:38	12:29	4:51	○	115,511
3	休憩開始		京都府京田辺市大住浜	12:29	13:11	0:42		
4	休憩終了			13:11	15:06	1:55		
5	休憩開始		京都府久世郡久美山村	15:06	15:41	0:35		
6	休憩終了			15:41	15:52	0:11		
7	運転終了 (帰庫距離入力)			15:52	15:52	0:00	○	115,611
8	終了点呼 (天気NOと就業場所を入力)			15:52	15:52	0:00		2

- ✓ 運行時間、休憩時間、走行距離などを記録した日報を自動生成。
- ✓ **書面印刷不要** (国土交通省の調査はPC内のデータ閲覧で終了)



事例2「手書きの運行日報をLINEでデジタル化！」

事業者例 概要

ドライバーが国家資格である運行管理者資格を持っている。
社内に総務・経理部門はなく、ドライバーによる一般貨物自動車運送事業会社の経営を目指す。

課題

紙の運転日報を無くしてデジタル化したい。

解決

運行管理について「デジタコ」と同じような機能をスマホで手軽にデジタル化して解決した。

導入効果

- 運転日報の作成・印刷が不要に！
- LINEアプリを利用する為、ダウンロードが不要でランニングコストが、他社ソリューションと比べて一番安かった。
- 全ての情報がクラウド上に保存されているので、運行日報以外の報告書を作成する事務作業が効率化できた。



事例2 「手書きの運行日報をLINEでデジタル化！」

貨物自動車運送事業 実績報告書

一般貨物自動車運送事業者は、年に1回ですが所轄の運輸支局に事業実績報告書を提出しなければなりません。この報告書の中には荷主から受け取った貨物の重量を記載する項目があります。

どらたん取得データ

ドライバー名	運行日	開始時刻	終了時刻	時間(分)	作業名	数量	メモ	集配先ID	集配先	住所
	2022/7/13	2022/7/13 7:35	2022/7/13 7:45	10	出庫			1	足立ギルド運送店	東京都足立
	2022/7/13	2022/7/13 7:45	2022/7/13 8:03	18	運転	137427				
	2022/7/13	2022/7/13 8:03	2022/7/13 8:31	28	積み込み		巻取 17/2217	1389	A社	東京都...
	2022/7/13	2022/7/13 8:31	2022/7/13 9:37	65	運転	137429				
	2022/7/13	2022/7/13 9:37	2022/7/13 9:41	4	荷卸し		巻取 2/353	1260	B社	千葉県...
	2022/7/13	2022/7/13 9:41	2022/7/13 10:06	24	運転	137471				
	2022/7/13	2022/7/13 10:06	2022/7/13 10:17	11	荷卸し		巻取 14/1809	1402	C社	埼玉県...
	2022/7/13	2022/7/13 10:17	2022/7/13 10:36	18	運転	137479				

「どたらん」でダウンロードした運行記録のCSVファイル（黄色がメモ欄）

導入効果

- 「どらたん」で取得した情報の中にはドライバーがスマホからメモ欄に入力したこれらの情報が入っているので、CSVファイルでダウンロードした運行記録のメモ欄だけを抽出することで、この事務作業を簡単に行うことができた。
- 管理者用Webの「作業情報」の編集で「積み込み」に対する入力項目を「品名」「個数」「重量」の3つにしてデータを区切って集計できた。

事業実績報告書

第4号様式（第2版関係）（日本工業規格JIS A 4001）

区分	一般	特殊	事業番号	
種類	利用	運送		

貨物自動車運送事業実績報告書

あて 住所
事業所名
代表者名
電話番号

事業内容（前年4月1日から3月31日まで）

事業用自動車	台	従業員数	人	運転者数	人
--------	---	------	---	------	---

事業内容（前年4月1日から3月31日まで）

・ ダンプによる土砂等輸送	・ 冷蔵、冷蔵輸送
・ 基準値和認定車両による長大物品等輸送	・ 原木、製材輸送
・ 国際海上コンテナ輸送	・ 引越輸送
・ コンタクトミキサー車による生コンクリート輸送	・ その他
・ 危険物等輸送	・ （ ）

輸送実績（前年4月1日から3月31日まで）

	延長車両数 (日車)	延長車両数 (日車)	走行キロ (キロメートル)	輸送トン数		営業収入 (千円)
				実運送 (トン)	利用運送 (トン)	
北海道						
東北						
関東						
中部						
近畿						
中国						
四国						
九州						
沖縄						
全国計						

事業所数（前年4月1日から3月31日まで）

交通事業所数	最大事業所数	完結数	負債者数
--------	--------	-----	------



事例3 「ドライバーとの電話のやりとりがゼロに！」

事業者例 概要

福岡県の運送会社（九州内の輸配送・取り扱い貨物は特積み、雑貨、冷蔵食品など）
設立：1990年12月
従業員数：91名
車両：65台（うち30台はシャーシ）

課題

- ・ 事務員の電話対応の負荷が大きい（1日あたり520回以上の電話）
- ・ 電話代行サービスに頼むと試算で約100万円/月

解決

「どらたん」導入後は、電話のやりとりがなくなった。

導入効果

- ・ LINEによる運行管理で事務員とドライバーのやり取りがなくなった
- ・ 電話件数が事務所全体で約90%減少、運行業務は100%減少
- ・ 請求業務に必要な事務員のスプレッドシートへの転記作業がなくなった



事例3 「ドライバーとの電話のやりとりがゼロに！」

会社のパソコン画面

ドライバーのスマホ操作



対象日時: 2018/07/24 14:00

部署	ドライバーID	ドライバー名	開始時刻	終了時刻	項目名	生配先ID	生配先	住所
01_沙留事業所	S02	松研次郎さん	2018/07/24 14:49	2018/07/24 14:49	運転			
01_沙留事業所	S02	松研次郎さん	2018/07/24 14:49	2018/07/24 14:49	荷卸し			
01_沙留事業所	S03	松研花子さん	2018/07/24 14:30	2018/07/24 14:31	運転			
01_沙留事業所	S03	松研花子さん	2018/07/24 14:31	2018/07/24 14:31	手待ち (荷主都合)	10001	沙留LC	東京都港区東新橋 1-9-3
01_沙留事業所	S03	松研花子さん	2018/07/24 14:31	2018/07/24 14:31	荷卸し			
01_沙留事業所	S04	松研四郎さん	2018/07/24 14:44	2018/07/24 14:44	運転			
01_沙留事業所	S04	松研四郎さん	2018/07/24 14:44	2018/07/24 14:45	積込み	10001	沙留LC	東京都港区東新橋 1-9-3

すべてのドライバーの運行状況をリアルタイムで把握

- ✓ ドライバーのスマホ操作により、会社にいる事務員はパソコン画面から「どのドライバーがどこに行って何をしているのか」をリアルタイムで把握することができるので電話が不要になった
- ✓ 電話の後で事務員がやっていた「指示番号」「出発時間」の転記作業もなくなった
- ✓ 運行業務での電話のやりとりがなくなったので電話料金が90%削減できた



事例 4 荷待ち・積卸作業を記録し、適正な料金を収受！

事業者例 概要

取扱い貨物：酒類
事業所所在地：埼玉県
ドライバー数：5名
トラック台数：5台

課題

- 集配先で荷待ち時間・積卸時間が発生している。
- 紙帳票への荷待ち・積卸し時間の記録と集計に手間がかかっている。
- 集配先別に荷待ち・積卸時間を把握し、運賃・料金交渉へ活用したい。

解決

- 位置情報から配送先を自動判定し、集配先別の荷待ち・積卸作業時間を記録。
- 集配先別に集計し、運賃・料金交渉のエビデンスとして活用

導入効果

- 荷待ち・積卸し時間を紙帳票の記録を解消！
- 荷待ち・積卸し時間の記録を電子化し、集計の事務作業を軽減！
- 集配先別の荷待ち・積卸時間を把握し、顧客への運賃・料金交渉のエビデンスとして活用！



事例 4 荷待ち・積卸作業を記録し、適正な料金を収受！

設定のポイント

<利用条件>

- ・ 集配先が多い。
- ・ 新規の集配先の記録が稀にある

<どらたんの設定方法>

- ・ 集配先情報をCSV形式で集配先一覧を作成
- ・ 集配先マスタにCSVで一括登録
- ・ 荷待ち・荷下作業が発生する集配先を位置情報機能から自動判定
- ・ 新規の集配先については、メモ欄に記録
- ・ 分析ツールを利用し、集配先の荷待ち・積卸時間を集計

集配先マスタの登録

設定のポイント
CSV形式で一覧を取り
込めることを説明に補
足

集配先マスタ

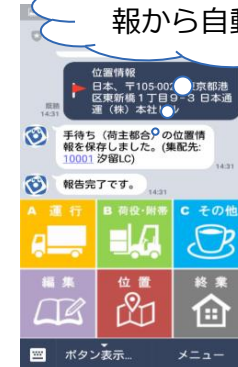
新規追加

集配先ID	集配先名	住所
1001	集荷先A	埼玉県〇〇町△△4-2
1002	集荷先B	埼玉県〇〇市△△8-4-1
1003	集荷先C	埼玉県〇〇市△△2-4
1004	集荷先D	東京都〇〇区△△6-1
1005	集荷先E	東京都〇〇区△△2
1006	集荷先F	東京都〇〇区△△210
1007	集荷先G	東京都〇〇区△△17

集配先をマスタ
登録

LINEにて集配先作業と位置情報を登録

集配先を位置情
報から自動判定



※集配先の登録数に上限はありません

積卸作業登録画面を
補足
新規の集配先登録は
メモにて残すことを
補足

集配先ID	集配先名	日付	部署名	ドライバーID	ドライバー	運転	手待ち (荷主側)	手待ち (自社側)	給油	積み込み	荷卸し	休憩	その他
1001	集荷先A	2021/1/12	A運送店	101	ドライバー1		1:22	0:15					
1001	集荷先A	2021/1/12	A運送店	102	ドライバー2		1:25						
1001	集荷先A	2021/1/12	A運送店	103	ドライバー3		0:19						
1001	集荷先A	2021/1/12	A運送店	104	ドライバー4		0:36						
1001	集荷先A	2021/1/13	A運送店	105	ドライバー5		0:02						
1001	集荷先A	2021/1/13	A運送店	105	ドライバー5		0:35						
1001	集荷先A	2021/1/14	A運送店	105	ドライバー5		1:05						
1001	集荷先A	2021/1/14	A運送店	106	ドライバー6		0:11						
1300	集荷先A	2021/1/14	A運送店	107	ドライバー7		0:23						0:26
1001	集荷先A	2021/1/14	A運送店	108	ドライバー8		0:35				0:15		
1001	集荷先A	2021/1/15	A運送店	109	ドライバー9		0:55				0:15		1:07
1001	集荷先A	2021/1/15	A運送店	110	ドライバー10		0:25				0:08		
1001	集荷先A	2021/1/15	A運送店	110	ドライバー10		0:11				0:09		
1001	集荷先A	2021/1/15	A運送店	111	ドライバー11		0:47			0:01	0:40		

集配先の荷待
ち・積卸作業時
間を集計



事例 5 配送先附帯作業を記録！

事業者例 概要

取扱い貨物：酒類
事業所所在地：北海道
ドライバー数：30名
トラック台数：30台

課題

- ドライバーは、配送先での庫内附帯作業が行っている
- デジタコでは附帯作業の詳細な内容が記録できない

解決

- デフォルトの作業名を編集し、詳細な附帯作業項目を設定。
- 位置情報から配送先を自動判定し、配送先別に作業を識別して記録。

導入効果

- 附帯作業時間の紙帳票の記録を解消！
- 附帯作業時間の記録を電子化し、集計の事務作業を軽減！
- 集配先別の附帯作業時間を把握し、顧客への運賃・料金交渉のエビデンスとして活用！



事例 5 配送先附帯作業を記録！

設定のポイント

<利用条件>

- ・ 把握したい附帯作業作業が細かい。

<どらたんの設定方法>

- ・ 作業情報設定にて、把握したい附帯作業名を詳細にカスタマイズ
- ・ 附帯作業が発生する集配先を位置情報機能から自動判定
- ・ 新規の集配先については、メモ欄に記録
- ・ 分析ツールを利用し、配送先の附帯作業時間を集計

①作業名の編集

作業情報

部署 顧客A担当

作業テンプレート

作業ID	作業名	位置	数値	メモ	質問
A11	運転	○			高速を利用しますか？
A12	フェリー	○			
A12					
B21	検収・検品				
B22	商品仕分け				
B23	ラップ巻き				
B31	棚入れ				
B32	はい作業				
B33	ラベル貼り				
B41	庫内搬送（台車）				

把握したい附帯作業に合わせて、作業名を編集。

②LINEでの計測



③卸先別の附帯作業の集計

日付	部署名	ドライバーID	ドライバー	集配先ID	集配先名	住所	手待ち(荷車)			
2018/1/1	A運送B営業所	Q100001	ドライバー-A	112	A社	千葉県市原市×××				
2018/1/1	A運送B営業所	Q100003	ドライバー-C	34	B社	千葉県成田市				
2018/1/1	A運送C営業所	Q100015	ドライバー-O	567	C社	東京都江東区×××				
2018/1/1	A運送C営業所	Q100016	ドライバー-P	765	D社	東京都青柳市×××				
2018/1/1	A運送C営業所	Q100020	ドライバー-V	253	E社	千葉県船橋市×××				3:00
2018/1/1	A運送C営業所	Q100020	ドライバー-V	225	F社	東京都江東区×××				1:44
2018/1/1	A運送B営業所	Q100020	ドライバー-V	158	G社	東京都江東区×××	0:47			0:52
2018/1/2	A運送B営業所	Q100001	ドライバー-A	587	H社	埼玉県草加市×××	0:45	0:15		0:12
2018/1/2	A運送B営業所	Q100001	ドライバー-A	999	I社	千葉県成田市×××	1:20	0:40		0:45

分析ツールで
配送先別、ド
ライバー別等
の附帯作業を
集計



事例6 運行中のメモの記録！

事業者例 概要

取扱い貨物：中古車
事業所所在地：埼玉県
ドライバー数：10名
トラック台数：10台

課題

- ・ 納品した品名や受領証NO.などのメモを記録したい
- ・ 納品した貨物に異常がなかったか、記録したい

解決

- ・ 「メモ」「数値」「質問」機能を活用して記録
- ・ 運転日報の生成、製品別の集計

導入効果

- ・ 紙帳票の記録を解消！
- ・ 納品した製品の異常の有無をどらたん管理WEBにて確認



事例 6 運行中のメモの記録！（数値、メモ機能）

設定の ポイント

<利用条件>

- ・ 品名、受領書NO.を記録したい。
- ・ 異常の有無を確認したい。

<どらたんの設定方法>

- ・ 品名⇒「メモ」機能、受領書NO. ⇒「数値」機能にて記録
- ・ 「質問」機能を活用し、異常あり・なしを確認

どらたんWEB「運行データ管理」画面

部署	ドライバーID	ドライバー名	運行日	運行終了	開始時刻	終了時刻	作業名	数量	メモ	質問	回答	集配先ID	集配先
元請B運送会社担当	DR002	ドライバー-02	2020-07-22		2020/07/22 10:20	2020/07/22 11:20	運転			高速を利用しますか？			
元請B運送会社担当	DR021	ドライバー-21	2020-07-22		2020/07/22 09:00	2020/07/22 10:00	運転			高速を利用しますか？			
元請B運送会社担当	DR021	ドライバー-21	2020-07-22		2020/07/22 10:00	2020/07/22 11:00	運転			高速を利用しますか？			
元請B運送会社担当	DR021	ドライバー-21	2020-07-22		2020/07/22 10:00	2020/07/22 11:00	運転			高速を利用しますか？			
元請B運送会社担当	DR021	ドライバー-21	2020-07-22		2020/07/22 10:00	2020/07/22 11:00	運転			異常ありませんでしたか？			
元請B運送会社担当	DR021	ドライバー-21	2020-07-22		2020/07/22 10:00	2020/07/22 11:00	運転			高速を利用しますか？			
元請B運送会社担当	DR021	ドライバー-21	2020-07-22		2020/07/22 08:20	2020/07/22 10:10	運転			異常ありませんでしたか？			
D営業所	DR021	ドライバー-21	2020-07-22		2020/07/22 10:10	2020/07/22 11:30	荷卸し	666	製品A	異常ありませんでしたか？	○	001	
A営業所	DR021	ドライバー-21	2020-07-22		2020/07/22 11:30	2020/07/22 11:30	運転			高速を利用しますか？			
D営業所	DR021	ドライバー-21	2020-07-22		2020/07/22 11:30	2020/07/22 13:30	荷卸し	57705666 3511	製品B	異常ありませんでしたか？	○	002	沙留物流センター
A営業所	DR021	ドライバー-21	2020-07-22		2020/07/22 13:30	2020/07/22 18:34	運転			高速を利用しますか？			

「メモ」⇒品名
「数値」⇒受領書
NO.
を記録

「質問」機能を活用し、異常あり・なしを確認

運転日報生成、製品別の集計へ

【その他活用事例】

- ・ 一般貨物自動車運送等
- ・ 宅配便等



事例 7 顧客別の運行を管理！（部署作成機能）

事業者例 概要

取扱い貨物：一般・宅配貨物

事業所所在地：福岡県

ドライバー数：35名

トラック台数：35台

課題

- 元請け運送事業者別に運行を管理したい。
- 電話でのドライバーの配送状況の確認に時間がかかっている。

解決

- ドライバーを担当別にグループ分けし管理
- 位置情報機能活用により、電話での配送状況確認の軽減

導入効果

- 元請け運送事業者別に運行を管理し、原価計算、運賃・料金交渉のエビデンスとして活用！
- 配送状況の電話による確認作業を解消



事例 7 顧客別の運行を管理！（部署作成機能）

設定のポイント

<利用条件>

- 複数の元受け事業者の運行を取り扱っている。
- 配送状況確認の電話を解消したい。

<どらたんの設定方法>

- 部署作成機能により、顧客担当別の部署を作成、ドライバーをグループ化し、運行・作業時間を管理
- 配送状況は、運行状況照会により確認
- 顧客担当別の作業時間を集計

①グループ作成

部署情報

新規作成

部署名	説明	住所
元請A運送会社担当		東京都港区東新橋
元請B運送会社担当		
元請C運送会社担当		
元請D運送会社担当		

「部署作成」機能を活用し、顧客別（ここでは、担当の顧客元請運送事業者の別）にグループを作成

②グループ割り当て

新規作成

部署名	ドライバーID	ドライバー名	
A運送会社	DR001	ドライバー-01	
A運送会社	DR002	ドライバー-02	
B運送会社	DR003	ドライバー-03	
C運送会社	DR004	ドライバー-04	0004
A運送会社	DR005	ドライバー-05	0005
A運送会社	DR006	ドライバー-06	0006

担当のドライバーに作成したグループを割り当て、運行状況や、作業時間を管理。

③担当別の運行状況の管理（運行照会）

自社運行状況照会

部署	ドライバー	運行日	時間帯
全て	全て	2020/07/25	現在

対象日時: 2020/07/25 現在時刻

部署	ドライバーID	ドライバー名	開始時刻	終了時刻	作業名	数量	メモ	質問	回答	配送先ID
元請A運送会社担当	DR003	ドライバー-03	2020/07/25 16:10		荷卸し			手荷役ですか?	○	
元請B運送会社担当	DR004	ドライバー-04	2020/07/25 17:10							
元請C運送会社担当	DR021	ドライバー-21	2020/07/25 18:10							

【活用事例】

- 元受け運送事業者別
- 協力会社別
- 荷主別
- 取扱品目別
- 配送方面別 等

④担当別の作業時間の管理（データ集計）

部署	ドライバーID	ドライバー名	作業	1/1月	1/2月	1/3月	1/4月	1/5月	1/6月	1/7月	1/8月	1/9月	1/10月	1/11月	1/12月
元請A運送会社担当	DR001	ドライバー-01	運転	2.3	3.1	2.8	3.4	6.5		2.2	2.5	3.8	3.1	1.1	
			荷主別												
			手荷主（協賛品目）	0.0	0.0	0.0	0.0		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			手荷主（非協賛品目）	2.3	4.9	4.3	6.3		3.2	3.0	2.4	2.4	2.4	4.1	
			荷主別	0.0	2.2	1.1	0.7		1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			荷主別・種別別	0.0	0.0	0.0	0.0		0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	
			荷主別・種別別	0.0											
			荷主別・種別別	0.0											
			荷主別・種別別	2.0	1.0	1.7	0.3		1.8	2.2	0.3	1.8	0.1		
			荷主別・種別別	0.0											
			荷主別・種別別	0.0											
			荷主別・種別別	0.0	0.1	1.0	1.2	0.0	1.3	2.2	1.0	1.4	1.1		
			荷主別・種別別	0.0											
			荷主別・種別別	0.0	1.0	1.0	1.2	1.0	0.0	1.0	1.3	1.3	1.0	1.3	
			荷主別・種別別	17.7	20.0	23.1	25.5	18.4	0.0	22.5	23.0	21.1	22.0	28.1	
			荷主別・種別別	0.0	0.0			0.3		0.0	0.5	0.1			



事例8 白ナンバーの車両に活用！

事業者例 概要

取扱い貨物：営業
事業所所在地：東京都
ドライバー数：5名
トラック台数：5台（営業担当者が利用する社有車）

課題

- 紙による日報の記録・保管を解消したい。
- 事務作業による紙日報の電子化を解消したい。
- 令和4年4月から始まった白ナンバーのアルコールチェックの義務化に対応したい。

解決

- 日報の必須記録事項をどらたんにて記録。
- アルコールチェックの必須記録事項をどらたんにて記録。

導入効果

- 紙日報の記録・保管を解消！
- 日報の記録を電子化し、集計の事務作業を軽減！
- アルコールチェックの実施記録としてどらたんを活用！



事例8 白ナンバーの車両に活用！

設定の ポイント

<利用条件>

- 紙による日報の記録を解消したい。
- 事務作業による転記を解消したい。
- 令和4年4月から始まった白ナンバーのアルコールチェックの義務化に対応したい。

<どらたんの設定方法>

- 日報の必須記録事項を作業項目作成にてカスタマイズ。
- アルコールチェックの必須記録事項をどらたんにて記録。

<白ナンバー（例：営業用社有車）対象一日の作業記録の流れイメージ>

区分	乗務に関わる作業内容	どらたんによる記録項目
乗務前	日常点検	 車番入力/日常点検
	点呼	 <u>乗務前アルコールチェック（対面） or 乗務前アルコールチェック（その他）</u> /健康状態の良否/睡眠不足の有無/運転免許証
乗務	出庫（メーター値入力）	 出庫（乗務前メーター値入力）
	到着	 到着【位置入力】
	出発	 出発（運転）【位置入力】
	到着	 到着【位置入力】
	休憩・その他など	 休憩・その他など
	出発	 出発（運転）【位置入力】
	帰庫	 帰庫（乗務後メーター値入力）
	点呼	 <u>乗務後アルコールチェック（対面） or 乗務後アルコールチェック（その他）</u>
乗務後	終業	 <u>終業ボタン</u>

乗務前後の
アルコールチェックは
必ず記録すること

繰り返し

乗務前後の
アルコールチェックは
必ず記録すること

記録完了時に「終業」ボタンを必ず押すこと



事例8 白ナンバーの車両に活用！

アルコールチェックの義務化について

- 白ナンバーの車両（黄色ナンバーの軽自動車も含む）を保有する事業所は、令和4年4月からアルコールチェックが義務化となりました。
 - 下記のように段階的な導入となります。
 - ①令和4年4月1日～：「酒気帯びの有無の確認及び記録の保存」
 - ②令和4年10月1日～：「アルコール検知器の使用等」
 - アルコールチェックを行った場合、様式は問わず、下記の事項を記録し、1年間保管しなくてはなりません。
 1. 確認者名
 2. 運転者
 3. 運転者の業務に係る自動車のナンバーまたは識別できる記号番号等
 4. 確認の日時
 5. 確認の方法 「対面」または「対面でない場合の具体的方法」
（令和4年10月1日からは、「アルコール検知器の使用の有無」が必要）
 6. 酒気帯びの有無
 7. 指示事項
 8. その他必要な事項
 - 電子データによる記録も可能です。（紙による記録では1年間保管となると膨大な量になってしまうことが理由）
 - 原則として安全運転管理者※が点呼簿などを利用して記録しますが、ドライバーが記録する場合は、安全運転管理者が内容を確認した上で、乗務を行うことが必要です。
- ※安全運転管理者以外の者による確認
安全運転管理者の不在時など安全運転管理者による確認が困難な場合には、安全運転管理者は、副安全運転管理者又は安全運転管理者の業務を補助する者に酒気帯び確認を行わせることができます。

ご参考1

<https://www.police.pref.saitama.lg.jp/f0010/shinse/jigyousho.html>



事例8 白ナンバーの車両にどらたんを活用！

アルコールチェックの必須記録事項とどらたん機能の対応表（現システム仕様※）

必要記録項目	どらたんによる対応方法（現システム仕様）	どらたん機能				
		マスタ情報	作業登録	付随情報		
				数値	メモ	質問
1.確認者名	メモ機能を活用し、記録します。				○	
2.運転者	ドライバーのマスタ情報から自動的に記録されます。	○				
3.運転者の業務に係る自動車のナンバーまたは識別できる記号番号等	ドライバーのマスタ情報から自動的に記録されます。※	○				
4.確認の日時	アルコールチェックの作業登録時に打刻されます。		○			
5.確認の方法「対面」または「対面でない場合の具体的方法」	①「アルコールチェック（対面）」「アルコールチェック（対面以外）」という2つの作業項目を作成します。 ②対面でない場合の具体的方法はメモ機能を活用し補足で、記録します。		○		○	
アルコール検知器の使用の有無（2022年10月1日から）	数値機能を活用し、アルコール濃度を記録します。			○		
6.酒気帯びの有無	質問機能で酒気帯びを「はい」「いいえ」で確認します。					○
7.指示事項	メモ機能を活用し、記録します。				○	
8.その他必要な事項	メモ機能を活用し、記録します。				○	

アルコールチェックの必須記録事項とどらたんによる対応方法（現システム仕様）イメージ

※ドライバーの車両ナンバーが固定出ない場合は、「車番入力」という作業を登録してから、メモ機能で、車番を入力します。

※2023年7月時点



株式会社NX総合研究所
リサーチ&コンサルティング ユニット4
どらたん担当
doratan@nx-soken.jp